

令和3年4月26日

一般社団法人秋田県産業廃棄物協会
会長 山岡 緑三郎 様

秋田県生活環境部長
(公印省略)

高濃度ポリ塩化ビフェニルを含むコンデンサー等が使用された機器の
保有状況の確認及び早期処理について（依頼）

本県の廃棄物行政の推進については、日頃から御協力賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ポリ塩化ビフェニル（以下「PCB」という。）廃棄物等については、ポリ塩化ビフェニル
廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法に基づき、処分期間の末日までに処分を完了しな
ければならないと定められています。

高濃度PCB廃棄物の処分期間の終了が間近に迫ってきましたので、今一度、管理している建物
や施設について、PCB廃棄物等の保管又は使用の状況を確認し、該当機器を発見した場合は期間
内処分のための手続を進めてくださるよう、各会員への周知をお願いします。

なお、期間内に処分できない場合は、改善命令の対象となることがありますので御承知おきく
ださい。

1 高濃度PCB廃棄物の処分期間

高濃度PCB廃棄物（変圧器・コンデンサー）：令和4年3月31日まで

高濃度PCB廃棄物（安定器・汚染物）：令和5年3月31日まで

2 高濃度PCBを使用している可能性のある機器

- ① 昭和52年までに設置された揚水ポンプ類や工場設備等の配電盤
- ② 昭和28年から47年に国内で製造された変圧器・コンデンサー
- ③ 昭和52年3月以前に建築・改築された事業用建物の照明器具安定器
- ④ 昭和55年までに製造・販売された溶接機、X線発生装置、昇降機制御盤

【担当】

秋田県生活環境部環境整備課

廃棄物対策班 田村、佐藤、佐々木

TEL：018-860-1624

【確認方法】

確認に当たっては、電気工事業者等の専門業者に相談するなど、感電や転落等の事故に十分ご注意ください。

1 配電盤

(1) 設置時期の確認

使用中又は保管中の配電盤が昭和52年（1977年）までに設置されたものであるかを確認してください。

(2) 設備の状況の確認

(1) に該当する場合、配電盤の設備内にコンデンサーが組み込まれているかを確認してください。

(3) 製造時期の確認

(2) に該当する場合、コンデンサーが昭和28年（1953年）から昭和47年（1972年）までに製造されたものであるかを確認してください。

(4) 機器の判別方法

(3) に該当する機器を使用・保管している場合、当該機器における高濃度PCB含有コンデンサーの使用の有無について銘板を確認することで判別できます。

詳細はメーカーに問い合わせるか、(一社)日本電機工業会のホームページを御参照ください。

<https://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/pcb/hanbetsuhyo.html>

2 変圧器・コンデンサー

機器に取り付けられた銘板を確認することで判別できます。

詳細は各メーカーに問い合わせるか、(一社)日本電機工業会のホームページを御参照ください。

<https://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/pcb/hanbetsuhyo.html>

3 照明器具安定器

安定器に貼付された銘板に記載されているメーカー、型式・種別、性能（力率）、製造年月日等の情報から判別することができます。

詳細は各メーカーに問い合わせるか、(一社)日本照明工業会のホームページを御参照ください。

<https://www.jlma.or.jp/kankyo/pcb/index.htm>

4 X線発生装置、溶接機及び昇降機（エレベーター、エスカレーター）制御盤

(1) 製造時期の確認

昭和55年（1980年）までに製造・販売されたものであるかを確認してください。なお、昭和55年以降に機器のメンテナンス等により高電圧発生装置の交換を行っている場合、高濃度PCBは含まれておりません。ただし、交換を行った際、コンデンサー等を含む高電圧発生装置部分を

切り離して保管されている場合もあるため、そのようなものの有無についても確実に確認するようにしてください。

(2) 機器の判別方法

(1) で該当する機器を使用・保管している場合、当該機器における高濃度PCB含有コンデンサー等の使用有無について、機器の種類ごとに以下の要領で確認してください。

① 工業用X線検査装置

一般社団法人日本検査機器工業会 (<https://jima.jp/>) に加盟する4社により製造された機器のうち、高電圧トランスにPCB含有絶縁油が使用された可能性のあるものの機器名、型式名及び製造時期は別添1のとおりであり、これらに該当するものを使用・保管しているかを確認してください。4社以外のメーカーの機器を保有している場合は、直接メーカーにお問い合わせください。

② 溶接機

一般社団法人日本溶接協会 (<http://www.jwes.or.jp/>) に加盟する5社により製造された機器のうち高濃度PCB含有コンデンサー等を使用したものの機器名、型式名及び製造時期は別添2のとおりであり、これらに該当するものを使用・保管しているかを確認してください。

また、別添2に記載の8社については、高濃度PCB含有コンデンサー等を使用した機器はありません。

なお、これら13社以外のメーカーの機器を保有している場合は、直接メーカーにお問い合わせください。

③ 昇降機（エレベーター、エスカレーター）制御盤

建物の昇降機保守会社にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

- PCB全般に係ることは次のウェブサイトを御確認ください。
環境省「ポリ塩化ビフェニル（PCB）早期処理情報サイト」
<http://pcb-soukishori.env.go.jp/>
- PCB廃棄物の処分に係る登録、委託契約等に関する問い合わせは次のとおりです。
中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）
TEL：03-5765-1935（登録担当）
https://www.jesconet.co.jp/customer/discount_02.html
- 高濃度PCB廃棄物を中小企業者が処分する場合、その料金が軽減される措置があります。詳細は次のHPを御確認ください。
中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）
TEL：0120-808-534（中小軽減担当）
https://www.jesconet.co.jp/customer/discount_03.html

- 環境省の「PCB使用照明器具のLED化によるCO₂削減推進事業」において、照明器具のPCB含有の有無に係る調査及びPCB含有安定器を使用する照明のLED照明への交換工事に対する一部補助事業を実施する予定です。

申請先：一般財団法人 栃木県環境技術協会

TEL：028-671-1781

公募要領：<http://tochikankyou.com/hojo/announce.html>

- 高濃度PCB廃棄物を処分する場合、必要な長期運転資金が日本政策金融公庫の融資の対象となります。詳細は次のホームページを御確認ください。

日本政策金融公庫（環境・エネルギー対策資金 PCB廃棄物処分関連）

https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/15_kankyoutaisaku_t.html

- PCB使用機器が発見された場合の連絡先は次のとおりです。

| 判明した場所の所在地 | 連絡先 | 電話番号 |
|------------------------------|---------------------|--------------|
| 大館市 鹿角市 小坂町 | 秋田県大館保健所 環境指導課 | 0186-52-3953 |
| 北秋田市 上小阿仁村 | 秋田県北秋田保健所 環境指導課 | 0186-62-1167 |
| 能代市 八峰町 三種町 藤里町 | 秋田県能代保健所 環境指導課 | 0185-52-4331 |
| 男鹿市 潟上市 五城目町 井川町 八郎潟町 大潟村 | 秋田県秋田中央保健所 環境指導課 | 018-855-5173 |
| 由利本荘市 にかほ市 | 秋田県由利本荘保健所 環境指導課 | 0184-22-4121 |
| 大仙市 仙北市 美郷町 | 秋田県大仙保健所 環境指導課 | 0187-63-3683 |
| 横手市 | 秋田県横手保健所 環境指導課 | 0182-45-6139 |
| 湯沢市 羽後町 東成瀬村 | 秋田県湯沢保健所 環境指導課 | 0183-73-6157 |
| 秋田市 | 秋田市環境部 廃棄物対策課 | 018-888-5173 |

別添1

高濃度PCB含有絶縁油を使用した可能性のある工業用X線検査装置のメーカー名、機器名、型式名及び製造時期

一般社団法人 日本検査機器工業会

2020年3月27日

| | 当時の製造メーカー | 製造年月 | 形式 | 備考 |
|---|------------|---------------|------------|--------------|
| 1 | (株) 島津製作所 | 1980年以前(S55年) | WELTESシリーズ | 高電圧トランスが油絶縁式 |
| 2 | 東京芝浦電気 (株) | 1970年以前(S45年) | EX-200 | 高電圧トランスが油絶縁式 |
| 3 | 東京芝浦電気 (株) | 1970年以前(S45年) | EXS-2型 | 高電圧トランスが油絶縁式 |
| 4 | 理学電機 (株) | 1970年以前(S45年) | RFシリーズ | 高電圧トランスが油絶縁式 |

高濃度PCB含有コンデンサを使用した溶接機のメーカー名、機器名、型式名及び製造時期

| 回答企業 | 設備型式・機種 | メーカー | PCB含有コンデンサの使用時期 | 微量PCB混入が懸念されるコンデンサの使用時期 | |
|----------|-------------------------------------|---|------------------|-------------------------|--|
| (株) オリジン | 「OFP-」で始まる機種 ※○は数字 | オリジン電気 (株) | 1955年4月～1972年4月 | 1972年5月～1992年12月 | |
| | 「4FR-」で始まる機種 | オリジン電気 (株) | 1955年4月～1972年4月 | 1972年5月～1988年10月 | |
| | 「5FR-」で始まる機種 | オリジン電気 (株) | 1955年4月～1972年4月 | 1972年5月～1993年3月 | |
| | 「C1FP-」または「C-1FP」で始まる機種 | オリジン電気 (株) | 1955年4月～1972年4月 | 製造中止 | |
| | 「C4M-」または「C-4M-」で始まる機種 | オリジン電気 (株) | 1955年4月～1972年4月 | 製造中止 | |
| | 「OA-」で始まる機種 ※○は1桁または2桁の数字 | オリジン電気 (株) | 1959年4月～1972年4月 | 1972年5月～1993年3月 | |
| | 「OAS-」で始まる機種 ※○は数字 | オリジン電気 (株) | 1959年7月～1972年4月 | 1972年5月～1993年3月 | |
| | 「P-O」で始まる機種 ※○は1桁または2桁の数字 | オリジン電気 (株) | 1960年2月～1972年4月 | 1972年5月～1993年3月 | |
| | 「OD-」で始まる機種 ※電源部 ○は数字 | オリジン電気 (株) | 1960年5月～1972年4月 | 1972年5月～1993年5月 | |
| | 「C-1AS」で始まる機種 | オリジン電気 (株) | 1960年7月～1972年4月 | 製造中止 | |
| | 「V-」で始まる機種 | オリジン電気 (株) | 1960年9月～1972年4月 | 1972年5月～1993年3月 | |
| | 「I-HP」で始まる機種 | オリジン電気 (株) | 1961年1月～1972年4月 | 製造中止 | |
| | 「J-1～9-」で始まる機種 | オリジン電気 (株) | 1969年8月～1973年3月 | 1973年4月～1993年3月 | |
| | 「H-」で始まる機種 | オリジン電気 (株) | 1969年10月～1972年4月 | 1972年5月～1989年9月 | |
| | 「KFP-」で始まる機種 | オリジン電気 (株) | 1969年10月～1971年6月 | 製造中止 | |
| | 「4PO-」で始まる機種 | オリジン電気 (株) | 1970年3月～1971年3月 | 1973年11月～1985年6月 以降製造中止 | |
| | 「Z-OA-」で始まる機種 ※○は数字 | オリジン電気 (株) | 1970年5月～1973年3月 | 1973年4月～1990年3月 | |
| | 「SA-○○」で始まる機種 ※○は数字 | オリジン電気 (株) | 1970年10月～1972年4月 | 1972年5月～1993年3月 | |
| | 「SP-○○」で始まる機種 ※○は数字 | オリジン電気 (株) | 1970年2月～1972年4月 | 1972年5月～1987年11月 | |
| | 「JV-」で始まる機種 | オリジン電気 (株) | — | 1975年7月～1993年3月 | |
| | 「JP-」で始まる機種 | オリジン電気 (株) | 1970年3月～1973年3月 | 1973年4月～1993年3月 | |
| | 「JPF-」で始まる機種 | オリジン電気 (株) | — | 1986年5月～1993年3月 | |
| | 「JZ-」で始まる機種 | オリジン電気 (株) | 1971年1月～1973年3月 | 1973年6月～1991年3月 | |
| | 「K-」で始まる機種 ※機構部のみ | オリジン電気 (株) | 1970年10月～1972年4月 | 1972年5月～1993年3月 | |
| | 「D-」で始まる機種 ※電源部のみ | オリジン電気 (株) | 1970年6月～1972年4月 | 1972年5月～1993年5月 | |
| | 「OAP-」で始まる機種 ※○は数字 | オリジン電気 (株) | 1971年1月～1972年4月 | 1972年5月～1982年2月 以降製造中止 | |
| | 「KAP-」または「K-AP-」で始まる機種 | オリジン電気 (株) | 1970年6月～1971年6月 | 製造中止 | |
| | 「OP-15」※プラズマ溶接機 | オリジン電気 (株) | 1971年3月～1972年4月 | 1972年5月～1977年7月 以降製造中止 | |
| | 「OP-40」※プラズマ溶接機 | オリジン電気 (株) | 1971年8月～1972年4月 | 1972年5月～1978年10月 以降製造中止 | |
| | 「OPW-100」※プラズマ溶接機 | オリジン電気 (株) | — | 1972年12月～1977年1月 以降製造中止 | |
| | 「OPW-200」※プラズマ溶接機 | オリジン電気 (株) | — | 1984年2月 以降製造中止 | |
| | 「OPW-300」※プラズマ溶接機 | オリジン電気 (株) | — | 1978年3月 以降製造中止 | |
| | 「PCD-100-405」※プラズマ切断機 | オリジン電気 (株) | — | 1977年3月～1982年2月 以降製造中止 | |
| | 「PCD-100-406」※プラズマ切断機 | オリジン電気 (株) | — | 1981年10月～1985年3月 以降製造中止 | |
| | 「PCD-150-380」※プラズマ切断機 | オリジン電気 (株) | — | 1975年12月～1980年3月 以降製造中止 | |
| | 「PCD-150-416」※プラズマ切断機 | オリジン電気 (株) | — | 1985年8月～1991年8月 以降製造中止 | |
| | ※使用コンデンサメーカー：日ケミ、マルコン（現：日ケミ山形）、ニチコン | | | | |
| | (株) ダイヘン | HP掲載の通り (https://www.daihen.co.jp/csr/pcb/index08.html) | | | |

| 回答企業 | 設備型式・機種 | メーカー | PCB含有コンデンサの使用時期 | 微量PCB混入が懸念されるコンデンサの使用時期 |
|------------------|---------------------------|--|-----------------|-------------------------|
| 電元社トーア（株） | 定置式スポット溶接機 SLPシリーズ | 東亜精機（株） （～1988年） ナストーア（株） （1988年～2011年） | 1970年7月～1973年3月 | 1973年4月～1990年3月 |
| | 定置式プロジェクション溶接機 P0シリーズ | | | |
| | 定置式シーム溶接機 RCK・RCG・RUGシリーズ | | | |
| | タイマーコンタクター TCシリーズ | | | |
| | 屋根シーム溶接機 S5-TH-Yシリーズ | | | |
| （株）ナ・デックス | IC タイマ：SC4 型 | （株）名古屋電元社 | 使用していません | 1989年までの製造品が対象です |
| | CMOSタイマ：TCC4-17* | （株）名古屋電元社 | 使用していません | |
| | マイコンエース：M**-**** | （株）名古屋電元社 | 使用していません | |
| | ユニバーサルⅠ：TMCO-***/GSM-*** | （株）名古屋電元社 | 使用していません | |
| | ユニバーサルⅡ：TCUO-****/CSU-*** | （株）名古屋電元社 | 使用していません | |
| | ユニバーサルⅢ：U30-**** | （株）名古屋電元社 | 使用していません | |
| | ユニバーサルⅣ：U40-**** | （株）名古屋電元社 | 使用していません | |
| | RWC：U32-**** | （株）名古屋電元社 | 使用していません | |
| | AWC：AWC-** | （株）名古屋電元社 | 使用していません | |
| PHASE 1：PH1-**** | （株）名古屋電元社 | 使用していません | | |
| パナソニック（株） | 別紙の通り | | | |
| （株）育良精機 | 該当なし | | | |
| OBARA（株） | 該当なし | | | |
| （株）神戸製鋼所 | 該当なし | | | |
| （株）向洋技研 | 該当なし | | | |
| （株）中央製作所 | 該当なし | | | |
| デンヨー（株） | 該当なし | | | |
| （株）電溶工業 | 該当なし | | | |
| 古河電工パワーシステムズ（株） | 該当なし | | | |

高濃度PCB含有コンデンサを使用した溶接機のメーカー名、機器名、型式名及び製造時期

| 回答企業 | 設備型式・機種 | メーカー | PCB含有コンデンサの使用時期 | 微量PCB混入が懸念されるコンデンサの使用時期 |
|-----------------------------|---------|------|-----------------|-------------------------|
| パナソニックスマートファクトリーソリューションズ(株) | 下記の通り | | | |

記

PCB使用溶接機／微量PCB混入溶接機について

① 1972年以前に製造された溶接機(主銘板に記載された製造年を確認ください)

1972年以前に製造された溶接機には、PCBを使用しているものがあります。
溶接機の主銘板の写真と、主銘板に記載された情報(型式名、品番、製造年他)をご連絡ください。
主銘板が判別できない場合、溶接機本体の写真の送付をお願いします。
対象機種に対しては、PCB特措法に準拠した適正な処理をおねがいたします

【PCB使用溶接機品番と製造期間】(*には数字/英文字が入ります)

○製造期間:1957年(昭和32年)～1972年(昭和47年)

| | | |
|-------------|-------------|-------------|
| LAW-136(5)* | YK-136(5)E* | YK-136(5)F* |
| LAW-256(5)* | YK-206(5)E* | YK-186(5)F* |
| LAW-306(5)* | YK-256(5)E* | YK-206(5)F* |
| LAW-406(5)* | YK-306(5)E* | YK-256(5)F* |
| LAW-506(5)* | YK-406(5)E* | YK-306(5)F* |
| | YK-506(5)E* | YK-406(5)F* |
| | | YK-506(5)F* |

○製造期間:1957年(昭和32年)～1959年(昭和34年)

SAW-066(5)

○製造期間:1957年(昭和32年)～1963年(昭和38年)

SAW-306(5)

SAW-506(5)

○上記以外は個別にお問い合わせください

② 1990年以前に製造された溶接機(主銘板に記載された製造年を確認ください)

1990年以前に製造された溶接機には、製造時における微量PCB混入の可能性を完全に否定することができないものがあります。

溶接機の主銘板の写真と、主銘板に記載された情報(型式名、品番、製造年他)をご連絡ください。

主銘板が判別できない場合、溶接機本体の写真の送付をお願いします。

対象機種に対しては、PCB特措法に準拠した適正な処理をおねがいたします。

③ 1991年以降に製造された溶接機(主銘板に記載された製造年を確認ください)

1991年以降に製造された溶接機は、製造時におけるPCBの混入の可能性ある対象機種に該当いたしません。

高濃度PCB廃棄物の処分期間が迫っています!!

ご確認ください!!

このような機器はありませんか？



変圧器



コンデンサー

- ✓ 昭和 28(1953)年～47(1972)年に製造された機器の中には高濃度 PCB を含有しているものがあります。
- ✓ キュービクルの中や電気室、倉庫などを確認して下さい。

通電中の機器は近づくと感電の恐れがあります。確認する際は電気主任技術者等にご相談ください。

- ✓ 過去に PCB 機器を全て処分した事業場でも、普段人の出入りのない場所で新たに見つかった事例があります。



出展:環境省資料

キュービクル内部や電気室内、高所に設置されている高圧受電設備に残っていたものが発見された事例が多数あります。

高濃度PCB廃棄物(変圧器・コンデンサー)の処分期間は

令和4年3月31日まで

期間内に高濃度 PCB 廃棄物を処分しなかった場合は罰則が科されることがあります。

次の機器はPCB汚染の可能性がありますので、低濃度PCB廃棄物または低濃度PCB使用製品に該当する可能性があります。廃棄する際は低濃度PCB廃棄物とみなして処分するか、分析等により、低濃度PCB廃棄物に該当しないことを確認する必要があります。

<変圧器>平成6年より前に製造され、絶縁油の入替や絶縁油に係るメンテナンスが行われていないことが確認できないもの

<コンデンサー>平成3年(1991年)より前に製造されたもの

【低濃度PCB廃棄物の処分期間は令和9年3月31日まで】

高濃度PCB廃棄物の処分期間が迫っています!!



出展:環境省資料

照明器具の安定器

- ✓ 昭和52年3月以前に建築・改築された業務用の建物(工場・事務所・倉庫など)の照明器具の安定器には高濃度PCBを含有しているものがあります。
- ✓ 照明器具の銘板や反射板内部に設置されている安定器を確認して下さい。

通電中の機器は感電の恐れがあります。確認する際は電気工事業者やメンテナンス業者等にご相談ください。

- ✓ 過去にPCB機器を全て処分した事業場でも、普段人の出入りのない場所で新たに見つかった事例があります。

高濃度PCB廃棄物(安定器、3kg未満のコンデンサーなど)の 処分期間は令和5年3月31日まで

期間内に高濃度PCB廃棄物を処分しなかった場合は罰則が科されることがあります。

PCBはこのような場所でも使用されています



溶接機

出展:環境省資料

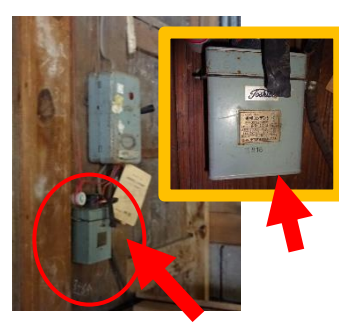


X線装置



制御盤

(動力ポンプや昇降機など)



低圧進相
コンデンサー

- ✓ 昭和28(1953)年～昭和47(1972)年に製造された設備の中にコンデンサーが組み込まれている場合、そのコンデンサーが高濃度PCBを含有している可能性があります。

- ✓ 低圧進相コンデンサーにも高濃度PCBを含有しているものがあります。

モーターで稼働する設備や店舗の業務用冷凍庫等の電気機器、農家の乾燥用モーター、揚水ポンプの力率を改善する目的で、配電盤等に設置されています。

●PCBを含有している機器を所有していることが判明した場合は、管轄保健所までご連絡ください。

大館保健所 0186-52-3954

北秋田保健所 0186-62-1167

能代保健所 0185-52-4331

秋田中央保健所 018-855-5173

由利本荘保健所 0184-22-4121

大仙保健所 0187-63-3683

横手保健所 0182-45-6139

湯沢保健所 0183-73-6157